特集4

中国や東南アジアは、ムラタグループ18社の約1万名が働き、全売上高の約50%を占める重要地域。この地域では、現地法人が老人ホームや孤児院などへの寄付、技術者養成学校への奨学金支給など、地域貢献に注力しています。

# 独自の社会・地域貢献活動を模索して

## 未来社会を担う若きイノベーターたちを積極的に応援

ムラタは、「Innovator in Electronics」というスローガンのもと、技術を革新し、価値ある製品を世に送り出し続けることで、持続可能な社会の実現に貢献しようと努めています。また、私たち自身がイノベーター(革新者)であり続けるだけでなく、さまざまな分野のイノベーターたちを応援していきたいと考えています。

このような思いから、1985年に村田学術振興財団を設立。以来、エレクトロニクスを中心とする自然科学分野や国際化に関する人文・社会科学分野の、新進気鋭の研究者や研究機関を助成してきました。これまでの助成対象は約1,000人・500団体を数え、助成金累計額は約13億円にのぼります。

八日市事業所での、地域の方を招いてシャクナゲ鑑賞会

これからの社会を革新し、未来をつくっていく子どもたちもまた「小さなイノベーター」です。そこでムラタは、各種イベントや小学校への出前授業を通して、将来の科学技術を担う子どもたちに、理科への関心を高めてもらう活動を続けています。また、今年で24回目となった全国小学生バドミントン大会「若葉カップ」を協賛しており、子どもたちを文化・スポーツ両面から応援しています。

## 緑豊かな地域環境をつくるために森林保全活動を開始

持続可能な社会を実現していくには、自然環境を保全し、次世代に引き継いでいくことが極めて重要です。

そこでムラタでは、事業活動の環境負荷低減を進めながら、事業所の緑化にも注力。日本全国で、「地域と共生する緑豊かな工場」を目指して、構内に樹木や地域に自生する草花を植え、法定以上の面積を緑化してきました。

そしてムラタは、2008年度から「ムラタの森活動」を開始します。これは、1992年の世界地球サミットでカナダが提唱した「モデルフォレスト運動」の日本における実践第1号。京都でこの運動を推進する社団法人京都モデルフォレスト協会の調整のもと、京都府亀岡市の森林で、広葉樹林の整備と伐採した樹木の木工・炭焼きなどでの活用、針葉樹林の枝打ち・間伐と間伐材のベンチ・椅子づくりなどに取り組んでいきます。

タイのMurata Electronics (Thailand), Ltd.は2004年からHIV・AIDS予防活動に取り組むNPO法人ピープルズ・ホープ・ジャパンへの寄付を開始し、これを継続しています。

米国、Murata Electronics North America, Inc.では、オフィス従業員と倉庫作業に従事する従業員とが協力して、クリスマスに子どもたちに自転車やボール、文房具、人形などを寄付しています。

# 従業員のアイデアと参画による社会・地域貢献活動へ。

**ムラタはこれまで、「会社」として社会貢献・地域貢献に取り組んできました。そして今、ムラタは、こうした活動に加えて、「従業員」のアイデアと参画による「会社」としての活動を融合させた、新しいタイプの活動をつくっていくことにも力を入れています。**

欧州では、古くなったオフィスのパソコンスクリーンを売却して得た収益を子どもたちに寄付したり、学校のスポンサーとなって寄付。また、英国 Murata Electronics(UK) Limitedでは地方の新規事業を援助する寄付も行っています。

京都府高等学校総合文化祭では村田製作所賞を設けて文化活動を応援したり、子どもたちへの環境教育、理科授業を実施するなど、地域へのさまざまな貢献を続けています。

## そこにムラタのあることが地域のよろこびであるように

「そこにムラタのあることが、その地域のよろこびであり誇りでありたい」――ムラタは地域社会との関わりをこのように考え、活動してきました。また、地域社会への貢献活動を進めていくにあたっては、従業員のアイデアや参画を重視しています。積極的に人や社会との関わりを求めて行動すること、自分が何をしたいかを情報発信して活動のためのネットワークを築いていくことは従業員自身の財産となり、そのことが会社の社会・地域貢献活動に広がりをもたせることにもなるからです。

例えば、「囲碁を通して何らかの社会貢献がしたい」と考えた“アマチュア囲碁名人”の称号をもつ従業員の想いと、「未来社会を担う小学生の論理的思考力を育てたい」という会社の想いが重なって誕生した「ムラタイノベーターカップ小学生囲碁9路盤※大会」。ムラタ京都本社を会場に当初50名ほどでスタートしたこの大会も、第2回めの2007年度以降は規模も倍増し、約100名の小学生が参加しています。

そして、こうした地域社会への貢献活動は、海外にも広がっています。シンガポールでは、2000年度からMurata Electronics Singapore(Pte.)Ltd.の従業員が、老人ホームでの介護ボランティア活動を自主的に続けています。また、香港では、Murata Company Limitedが、学校への本の寄贈やNPO法人を通じて恵まれない人々への献金をしています。

ムラタは、これからも「さまざまな分野のイノベーターを応援する」「環境保全に積極的に取り組む」「社会との関わりを持ち、従業員とともに成長する」「より良い地域社会づくりを支援する」という考え方に基づいて、すべてのステークホルダーへの感謝の気持ちを社会への貢献という形で伝えていきます。

※ 9路盤：通常の碁盤の目(路)が19本であるのに対して、9本の小さな盤を使うことで初心者や子どもにも親しみやすくしたもの。

従業員から

### 社会と従業員との「相互作用」に期待しています

企画・管理グループ総務部
総務1課 課長
亀井　一成

従来、ムラタの社会貢献活動では寄付・協賛など資金面での支援活動が多かったのですが、今後は従業員の顔が見える活動にも力を入れていきます。

さまざまな活動に従業員が参加することで、社会と従業員との間に、これまでなかった「相互作用」が生まれたら素適ですね。